

合理的配慮を受けるまでの流れ

申請

- BHEに、合理的配慮を希望する本人から、メールあるいはお電話にてご連絡をお願いします。
- 合理的配慮を希望する場合は、支援申請書と障害の状態がわかる資料を提出してください。

相談・協議

- ご本人と面談をおこない、修学上の支援ニーズや障害の状態を確認し、必要な合理的配慮について、ご本人と一緒に確認します。
- 教育組織等との協議をおこなうこともあります。

合意・支援

- ご本人を含む関係者間で合意が得られたら、合理的配慮が提供されます。
- 必要に応じて、合理的配慮内容の見直しを行います。

教職員のみなさまへ

こんなときはご相談ください

BHEでは、障害のある学生に対する修学上の相談をお受けしています。

障害のある学生だけではなく、学内の教職員の方々も、障害学生支援に関して、お困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

- ❖ 障害のある学生が入学することになったが、どのような準備をしたらよいかわからない
- ❖ 授業を担当していて気になる学生がいるが、どのように対応したらよいかアドバイスがほしい
- ❖ 障害のある学生が受講しているが、試験ではどのような配慮をしたらよいか知りたい

アクセシビリティ支援チーム 受付時間 & アクセス

受付時間

受付時間：平日 8:30～12:15, 13:15～17:15

T E L : 029-853-4584

F A X : 029-853-2257

E-mail : shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp

住所：〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1 スチューデントプラザ2階
(第一エリア1D棟)

ホームページ:

<https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/>

Facebook :

<https://ja-jp.facebook.com/UTsukubaosd>

Twitter :

<https://twitter.com/UTsukubaosd>

アクセス

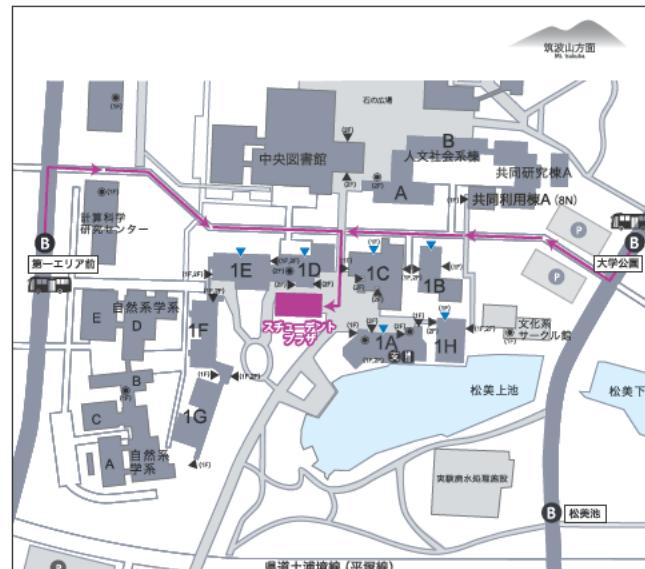
1. つくばエクスプレスでお越しの方

「つくば駅」から路線バス 6 番バスのりば
筑波大学循環（右回り）「第一エリア前」下車、
筑波大学循環（左回り）「大学公園」下車、
徒歩 5 分



2. 自家用車でお越しの方

筑波大学中央口または松見口の案内センターで駐車場の案内を受けてください



修学支援を 希望する 障害のある みなさんへ

筑波大学では、障害学生の自立と自己実現を促し、社会の発展に広く貢献できる人材の育成を目指しています。

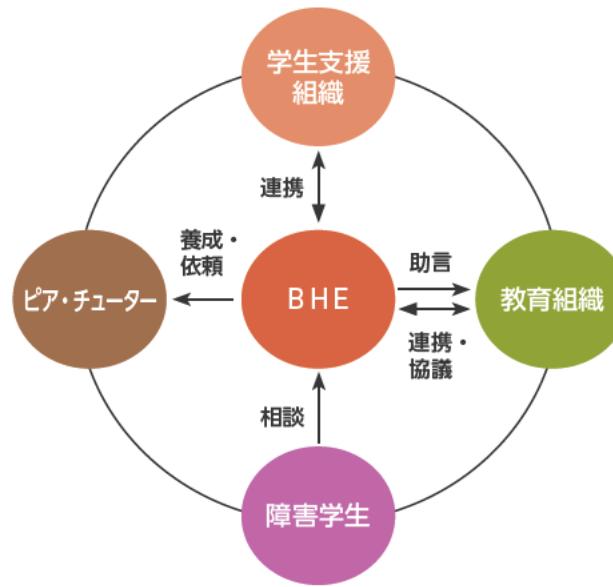
支援のコンセプト

- ・障害の有無にかかわらず学生の自立と成長を促す支援活動
- ・障害学生の学ぶ専門分野と個別のニーズに応じた合理的配慮の提供
- ・専門知識を有するスタッフのスーパーバイズによる支援体制



筑波大学の障害学生支援

筑波大学では、ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)を中心に、各教育組織、学生支援組織等と連携をしながら障害のある学生への修学支援を行っています。



ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)			
ジェンダー支援チーム	アクセシビリティ支援チーム	キャリア支援チーム	
LGBTQ等に関する相談・男女共同参画に関する取り組み等	障害のある学生の修学支援	キャリア支援・就職支援等	

修学支援以外にも、理解啓発活動や、ピア・チューターの養成、障害学生支援に係る研究活動にも力を入れて取り組んでいます。障害のある学生もそれらの活動に積極的に参加しています。

授業・試験に関わる合理的配慮の提供

- ・情報保障
(パソコン要約筆記、手書き要約筆記、手話通訳)
- ・ノートテイク
- ・授業資料等のテキストデータ化
- ・対面朗読や文書代筆
- ・試験の時間延長、別室受験、資料の拡大
- ・構内移動支援(福祉タクシーの利用も含む) 等

障害の状態や、修学のために必要な調整は個人によって異なります。
適宜ご相談ください。

修学のための教育的支援

- ・個別面談
- ・スタディスキル・コーチング
- ・支援機器の貸し出し
- ・グループ活動

自習・休憩室の整備

- ・支援準備室
- ・アクセシブルスタディルーム

アセスメントの実施

- ・発達障害特性、知的能力、職業適正等に関する検査



アクセシブルスタディルームの様子



移動支援の様子

ピア・チューターの養成と派遣

修学支援の必要性が認められた障害のある学生に対して、ピア・チューター(支援学生)を配置しています。ピア・チューターは、養成講座を受講し、支援技術を習得した上で、支援活動に携わっています。

支援活動にあたっては、障害支援チームを編成し、学生たちが主体的な支援活動を展開しています。障害のある学生自身もそれらの活動やチーム運営に積極的に参加しています。

なお、支援活動にあたっては、専門スタッフのスーパーバイズを受けながら、適切な支援ができるようにしています。



ユニバーサルデザインの推進

- ・構内や宿舎のバリアフリーに係る助言
- ・授業のユニバーサルデザインについての啓発
- ・アクセシビリティマップの作成・公開